

文化活動の状況

Ⅲ 文化活動の状況

ここは、市民会館、公民館、図書館及び体育館を除く社会教育の諸活動を述べます。この分野には社会教育全般の事務と文化財関係、青少年健全育成関係の事務事業があります。

1. 奨励・援助

市民の皆さんの行う社会教育の活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行った。

(1) 社会教育関係団体の状況

平成7年3月31日現在

分類	団体名	責任者	会員数	組織及び活動
少年 年 団 体	ボーイスカウト	森田 治 男	人 256	ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊 シニア隊、ローバー隊 福生第1団
	ガールスカウト			訓練活動（キャンプ） 福生第2団
	福生市連合育成会			東京 191団 奉仕活動、リーダー研修
成 人 団 体	福生市文化協会	小林 菊 三	人 3,600	加盟団体 120 市民文化祭、文化教室 文化団体の育成活動補助、発表会
	福生市公立小中 学校PTA連合会	鮫 島 一 郎	人 5,748	加盟団体 10 球技大会、講演会 非行化防止パトロール
	福生市体育協会	設 楽 清 一	人 5,300	加盟団体 18 定例会、各種スポーツ教室 市民総合体育大会 都民体育大会

2. 第25回 市民文化祭

(1) 趣 旨

- ① 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場を作り、今後の発展をはかる。
- ② 未参加者の文化活動への参加、各種活動の育成を促す。

(2) 主 催

福生市、福生市教育委員会、福生市文化協会

(3) 実行組織

実行委員会構成

- ① 文化協会役員
- ② 出展、出演団体の代表者
- ③ 教育委員会社会教育課、市民会館、公民館、図書館職員

(4) 期 日

10月30日(日) ・ 31日(月) ・ 11月1日(火) ・ 2日(水)
3日(木) ・ 5日(土) ・ 6日(日) ・ 12日(土)

(5) 場 所

展示関係 ー市民会館、公民館、福祉会館、中央図書館、プチギャラリー
演示場所 ー市民会館大、小ホール、公民館、福祉会館、福庵

(6) 運営方針

- ① 同種目については主管団体が処理する。
- ② 個人及び団体、一般からの出展、出演についてはすでに主管団体があるものはその団体が、
新種目を行う団体は、その団体が主管し個人のものは教育委員会が主管する。

(7) 参加内容の限定

- ① 市民の活動であること。
- ② 市民を対象とした文化事業であること。

(8) 参加対象

全市民(在住、在学の個人及び団体)とし一人一点に限定

(9) 全般的事項

① 文化祭実施要綱の決定

② 開場式 10月30日(日) 午前9時30分

市民会館小ホール

③ 準備過程

ア 広報 (ア) 公募 8月1日発行のお知らせ

申込締切 8月22日

(イ) 日程内容の周知

広報 10月15日

ポスター 10月初旬 250枚

(ウ) プログラム

5,000部

イ 案内状 総合プログラムと一緒に実行委員会で送る。

主管団体毎の招待状は各団体で行う。

ウ 主管団体必要物品

(ア) 指定様式に記入提出

(イ) その他必要品

エ 役員委嘱

実行委員会に委嘱状を交付する。

オ 委託料の交付

828,000円

(10) 実行委員会日程

第1回	9月2日(金)	午後7時30分	市民会館4・5集会室
第2回	9月13日(火)	午後7時30分	演示関係 市民会館4・5集会室
第3回	9月21日(水)	午後7時30分	展示関係 市民会館4・5集会室
第4回	9月29日(木)	午後7時30分	合同 市民会館4・5集会室
第5回	10月14日(金)	午後7時30分	合同 市民会館4・5集会室
第6回	12月16日(金)	午後7時30分	反省会 市民会館4・5集会室

(1) 実施内容

平成6年度参加団体

演 示	147団体	行政関係	1 団体
展 示	59団体	行政関係	2 団体 個人5人
計	214団体・個人		

※ 期間中の延一般入場者数 約7,000人

3. 成 人 式

(1) 趣 旨

市民が新たに社会の仲間入りをする成人者を祝い、励まし成人者が改めて成人する意味、意義を確認し合う場として、また今後は、社会の担い手として、独立した主体者として生活して行くための機会とする。

(2) 主 催

福生市、福生市教育委員会

(3) 期 日

平成7年1月15日 開式午前11:00 福生市民会館大ホール

(4) 実施内容

式 典 開式、君が代 主催者あいさつ
祝辞 来賓紹介 主催者紹介
式典後演奏 ポピュラー音楽の演奏
はらだしんべい&204丁目バンド

(5) 出席状況

成人者数		出席者数		出席率
男	486人	男	245人	50.4%
女	408人	女	250人	61.3%
合 計	894人	合 計	495人	

4. 社会教育委員の活動

社会教育委員

社会教育委員制度は、社会教育法15条に基づいて設置された市民参加の審議機関であり、当市は、昭和37年以来、任期2年定数10名で構成されています。各委員は社会教育全般に亘、調査、研究、計画の立案及び教育委員会からの諮問に、市民の立場から教育長を通じて教育委員会に答申する機関です。

会議等開催状況

開催日	場所	会議名	内容
平成6年4月16日	東京都立多摩社会教育会館	市町村社会教育委員連絡協議会定期総会	平成5年度事業報告・収入支出決算報告 平成6年度役員選出 〃 事業計画・収入支出予算 記念講演「生涯学習社会の構築－社会教育委員の役割」
5月20日	市民体育館会議室	社会教育委員の会議	平成6年度社会教育関係団体の補助金
7月26日	市民会館第2集会室	都市社連協第1ブロック役員会	第1ブロック研修会について
7月27日	多摩六都科学館	社会教育委員日帰り視察研修会	社会教育施設見学
8月27日	福生市民会館3階集会室 福生市福庵	都市社連協第1ブロック研修会	「生涯学習時代における社会教育の役割」 生態学的に見た現代の社会
9月8～9日	群馬県水上町	関東甲信越静社会教育委員研究大会	生涯学習社会の実現に向けた社会教育の充実・振興
10月4～5日	岩手県	全国社会教育委員研究大会	生涯学習社会の形成を目指す社会教育のあり方を考える
10月12日	市民体育館会議室	社会教育委員の会議	委嘱状の交付及び正副議長の選任について 行政報告について 全国大会の報告について
11月26日	青梅市立美術館 青梅市民会館大ホール	社会教育委員全体研修会	生涯学習時代における社会教育の役割 まちづくりとしての生涯学習
平成7年1月27日	市民体育館会議室	社会教育委員の会議	行政報告について 宿泊研修について
2月28日	市民体育館会議室	社会教育委員の会議	平成7年度社会教育計画及び社会教育関係予算について
3月28～29日	千葉県佐原市	社会教育委員視察研修	社会教育施設の視察について

5. 生涯学習

福生市生涯学習審議会

当市の生涯学習計画策定に資するため、平成5年9月30日に福生市生涯学習審議会を設置し、審議を行いました。

審議会の開催状況

回	開催年月日	審 議 内 容
5	6年4月30日	福生市の事業内容について
6	5月28日	講演会「文部省における生涯学習の振興方策について」
7	6月25日	今後の審議会の具体的な進め方について 各審議会委員が把握している事業について
8	7月18日	各審議会委員が考えている生涯学習について
9	8月15日	〃
10	9月19日	A・B班に分かれてのグループ討議
11	10月17日	〃
12	11月19日	〃
13	7年1月14日	検討項目別（生涯学習を推進するための基本的な考え方、生涯学習の意義と課題、生涯学習実現のためのシステム、生涯学習を活性化するためのシステム）についての討議
14	1月30日	〃
15	3月14日	〃

6. 文化財保護事業

文化財保護行政の役割は、文化財を文化遺産として後世に伝えるという保存事業と文化財保護思想の普及、さらに文化的向上に資するために資料として活用するという活用事業に分けることができます。本市では、昭和48年に文化財保護条例の制定、そして昭和54年の改正によって保護行政の充実と強化をはかってきましたが、平成3年4月1日より文化財の浅く広い保護を目指す文化財登録制度の導入を行い行政の推進をはかっています。平成6年度には新たに3件の文化財を台帳に登録しました。その結果、現在、市登録文化財は49件 2,297点（長沢遺跡出土品を除く）となりました。

文化財の保護は、市民一人一人の保護意識が高揚してはじめて成果のあがるものです。そのため、文化財保護の理解の推進と文化財の活用を目的として様々な学習の機会の設定に取り組み実施しました。また、日々進行する地域の都市化とそれに伴う生活様式の変化による文化財の変容と消失が進むなかで文化財総合調査を行い、所在の確認と記録の作成を行いました。

郷土資料室では、文化財保護活動普及の一環としての展示活動、文化財保管の場として文化遺産の収集、さらに収集した資料を情報として提供を行っています。特に、収集した資料の保管を正確に行い、また、学校教育、社会教育への提供、さらに市民の方々、研究者への情報の提供をより迅速に行えるようコンピューターを導入し、資料管理を行っています。

(1) 文化財保護事業方針

- ① 市内の学術上貴重な文化財を登録台帳に登録して保護する。
- ② 登録文化財のなかで特に貴重な文化財を指定文化財に指定して保護する。
- ③ 登録、指定に必要な資料を得るため文化財総合調査を実施して所在と分布の確認、記録の作成を行う。
- ④ 文化財総合調査の成果は、報告書等によって公表し市民の学習、研究活動等に提供する。
- ⑤ 市民の文化財に対する学習の機会を保証する。
- ⑥ 市民の文化財に対する保護、活用等の活動に対し、奨励、援助、指導等を行う。
- ⑦ 環境や生活様式等の激変にともない損壊、消失しつつある文化財を収集し保存する。
- ⑧ 郷土資料室において文化財、歴史的環境の保護、保存、活用等のための普及事業を実施する。
- ⑨ 行政事務担当における事務等の整備、確立をはかる。

(2) 郷土資料室の事業

- ① 資料の収集
- ② 資料の整理・保管
- ③ 資料の調査・研究
- ④ 資料の展示・教育普及

(3) 文化財保護事業の実施状況

① 文化財登録実施状況

指定文化財に比べて浅く広い保護施策を目指す文化財登録制度を導入していますが、平成6年度に登録台帳に新しく登録した文化財は3件15点（内、一括が1件）です。

No.	名 称	数 量	区 分	所 在 地	登録年月日
47	長沢遺跡出土品	1 括	市登録有形文化財	北田園2-9-1	6・11・1
48	木造森田友昇坐像	1 軀	市登録有形文化財	北田園2-9-1	6・11・1
49	森田友昇・萩原萩露 俳諧資料	1 件14点	市登録有形文化財	北田園2-9-1	6・11・1

② 文化財総合調査事業の実施状況

(ア) 寺社美術品調査

市内の寺院、神社の所蔵する彫刻、絵画等の調査を行いました。調査は3カ年計画で実施するもので本年度は2年度です。初年度は、4カ寺31軀の彫刻を調査の対象として実施し、記録を作成しましたが、本年度は5カ寺34件40点の彫刻、絵画の調査を実施しました。

・調査員（責任者） 斎藤経生（女子美術大学教授）

調査員 稲木吉一、小野裕子、河田あすか、牛田りき、原田あゆみ

(イ) 民俗調査

明治初期に製糸業を興し、後に東京地方屈指の製糸工場に発展した森田製糸工場の経営者である森田家に残されていた和服類他 167点の調査を昨年度に続き実施しました。また、酒井家、松永家、志村家、笹本家から寄贈された55点の和服も調査しました。

・調査員 保坂和子、山崎ヨシ江、森田節子、浅井薫（地域の生活文化を考える会会員）

(ウ) 民具調査

郷土資料室収蔵の民具のなかから桶屋の道具を調査しました。

・調査員 田野倉紀子（日本民俗学会）、岡部悦子（郷土資料室臨時職員）

(エ) 熊川分水調査

玉川上水分水のひとつ熊川分水の開削の歴史とその後の利用状況の変遷等を明らかにするために必要な資料の収集を行いました。3カ年計画の2年次目です。

(オ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

埋蔵文化財包蔵地4号遺跡内での開発計画に伴う確認調査を実施しました。調査の結果、用地の一部で遺構等が確認されたため発掘調査を実施する必要が指摘されました。

①・調査地番 福生市福生1076 ・開発予定面積 1,397㎡

・調査期間 平成6年4月1日

- ②・調査地番 福生市福生1066-1 ・開発予定面積 2,473㎡
・調査期間 平成7年1月14日より1月16日まで
・調査指導者 和田 哲（立川女子高校教諭） ・調査作業員 福生市シルバー事業団

③ 調査報告書の刊行

- ・文化財総合調査報告書第28集として、『福生市の民俗・衣生活－森田家三代のきもの－』を刊行しました。A4判、220頁で1,000部印刷しました。

④ 玉川上水に発生するホタルの研究委託

昭和46年度以来、玉川上水に自然発生するホタルの研究を福生ホタル研究会に委託していますが6年度も委託しました。

⑤ 郷土資料室の運営事業

- (7) 資料の収集（寄贈・購入） 202点

(1) 資料の保管

A 資料のくん蒸消毒

郷土資料室内収蔵庫（第1、第2）のくん蒸消毒を業者委託により行いました。実施期間は平成7年3月2日より3月5日までの間です。消毒の概要は次のとおりです。

場 所 郷土資料室第1収蔵庫（320㎡）、第2収蔵庫（92㎡）

対象資料 民俗、歴史、美術、自然資料

方 法 エキボン（酸化エチレン14%、臭化メチル86%）によるガス化くん蒸消毒
くん蒸消毒時間 48時間

目 的 殺虫、殺菌、殺卵

消毒効果 終了後の財団法人文化財害虫研究所によるくん蒸処理効果判定は、殺虫、殺菌、殺卵とも100%でした。

(7) 展示、講座、教育普及事業

A 企画展示

「20世紀多摩の文化運動－特に戦後福生の文化運動を中心に－」

期間 平成7年3月14日～5月28日

特に戦後50年を迎えるにあたって、戦後福生で湧き起こった文化運動を中心テーマとして、敗戦後の青年達の行動について考えてみよう企画した展示です。展示した資料は、多摩地域を対象に収集しましたが、福生市民から提供された青年団関係資料、文芸運動関係資料、演劇関係資料が中心で150点余りです。

B 特別展示

「第2回石の文化財拓本展－阿弥陀如来像から如意輪観音菩薩像へ－」

期間 平成6年4月5日～5月29日

文化財総合調査の一つとして実施した石造遺物調査の成果を拓本を中心に展示しました。自然石を素材とした墓標のなかで、表面に仏像がレリーフされているものは17世紀より18世紀にかけて造立されたもので、非常に時代的特徴がみられます。また、彫刻されている仏像も阿弥陀如来、聖観音から地蔵菩薩、如意輪観音へと変化がみられ、民間の信仰、地域の歴史の変遷などをさぐるうえで重要な資料です。

C 常設展示

「福生市の成り立ちと人々の歩み」

期間 平成6年4月1日～平成7年3月31日

昭和54年4月の開館以来、テーマは「福生市の成り立ちと人々の歩み」です。この展示テーマのもとに三つの分野別テーマを設け全体を構成しています。利用対象を小・中学生と設定し、各分野のテーマは、歴史分野が「福生の成り立ちと歴史と学ぼう」、民俗分野が「福生の民俗とくらしを学ぼう」、自然分野が「多摩川の自然を学ぼう」としています。この常設展示は、展示室が狭小なことから各分野のテーマは「・・・学ぼう」、「・・・さぐろう」、「・・・観察しよう」といった問題設定の形をとって利用者に関心をもっていただくことをねらいとして展示スペースをカバーしています。

D 講座、学習会

a 初心者古文書学習会

期間 前期・平成6年6月11日より7月2日まで

毎週土曜日、午後2時より4時まで、全4回

後期・平成6年10月29日より11月19日まで

毎週土曜日、午後2時より4時まで、全4回

指導 高崎勇作、峰岸秀雄（福生古文書研究会）

市内に残る古文書、古記録の読解をととして地域の歴史を理解することが学習会の目的です。今回の学習テーマは前期が「熊川分水の歴史をたずねる」、後期が「玉川上水の歴史をたずねる」です。

b 上級者古文書学習会

期間 平成6年4月より平成7年3月まで、毎月第三木曜日、午後7時より9時

まで、全12回。

指導 高崎勇作、峰岸秀雄（福生古文書研究会）

この学習会は、初心者コースに参加し、引き続き学習を希望する方のために行われているものです。参加者の多くは自主グループ「福生古文書研究会」会員ですが、この会は初心者コース参加者が結成した会です。例年、初心者コースの参加者のなかから上級者コースに進む方もおり、指導は会員が行っています。

c 市内史跡・名木めぐり

① 「熊川分水コース(1)」

日時 平成6年5月28日（土）、午前9時30分より正午まで

② 「熊川分水コース(2)」

日時 平成5年12月4日（土）、午前9時30分より正午まで

市内の史跡や名木の見学をととして文化財の保護と地域の風土、歴史等に理解を深めていただくことが目的です。今回は、第1回が熊川分水取水口より分水沿いの石仏、福生院墓地の史跡・長塩氏の墓やザクロなどの名木の見学、第2回が熊川神社本殿、真福寺の史跡・田沢氏の墓や市指定天然記念物のケヤキ、市登録文化財のザクロなどの名木を熊川分水に沿って訪ねました。

d 仏教史講座

期間 平成6年10月1日より11月5日まで、毎週水曜日、午後7時より9時まで、
全9回

講師 田中章男（石南文庫主宰）

日本の仏教の大きな流れがどのようなであったのかを、主要な仏教者の生涯と社会とのかかわりを中心に考えて行きました。

e 初心者バードカービング教室

期間 平成7年2月25日より4月1日まで、毎週土曜日、午後1時30分より4時
30分まで、全6回

講師 成川 治（造形家）

鳥の姿を忠実に再現した木製の彫刻を作ることによって、自然観察と天然記念物に対する理解を深めていただきました。

E 出版物

a 企画展解説書「20世紀多摩の文化運動」B5判、1,000部

b 「郷土資料室年報14」B5判、300部

F 市民、団体、研究者等への情報提供、援助、奨励

文化財の保存と活用に関わる学習、研究等を行っている市民、団体及び研究者等への情報の提供や印刷援助等を行いました。

G 多摩郷土誌フェアの参加

期間 平成6年1月27日（金）より29日（日）まで

会場 立川ターミナルビル「ルミネ」7階ギャラリー（立川市）

多摩地域の各市町村が発刊している郷土誌関係の刊行物を一堂に展示して、紹介と普及を図ることを目的として開催するもので今回で7回を数えました。主催は、27市の社会教育課長会です。

(4) 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、市教育委員会の諮問におうじて文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について委員会に建議するため8人の委員が委嘱されています。

① 委員

新井勝紘	有形文化財、史跡	国立歴史民俗博物館助教授
河上一雄	有形・無形民俗文化財	都立北高校校長
北原進	有形文化財、史跡	立正大学教授
島田宇一	有形・無形文化財、史跡	
高崎伊平	有形・無形文化財、史跡	
立川愛雄	有形・無形文化財、史跡	
田村光男	有形文化財、史跡	瑞穂町立瑞穂中学校教諭
宮岡一雄	天然記念物	明治大学教授

② 会議の開催

平成6年6月24日 市内文化財の視察（清岩院・銅造菩薩立像）

平成6年12月27日 平成7年度に予定している登録文化財について
市指定文化財の補助金要綱の作成について

③ 研修の実施

福島県喜多方市を中心とした地域の文化財保護及び活用状況について視察しました。

平成6年8月22日より8月23日まで

7. 青少年健全育成

青少年が社会の一員として愛され、良い環境の中で心身共に健やかに成長することを目指し、好ましくない環境の浄化に努めると共に諸施設の推進を図っていく。

(1) 青少年問題協議会

青少年問題協議会は、市長の付属機関であり、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立について、調査審議し関係行政機関の相互連絡調整及び意見等を求める機関です。

委員数 26人

日 時	会 議 内 容
7月6日	1 平成6年度 福生市青少年健全育成夏季対策事業（案） 2 福生市青少年の主張大会について（案） 3 青少年海外派遣生の選考結果について 4 家庭の日図画・作文の募集について
2月16日	1 平成7年度 福生市青少年健全育成事業計画（案） 2 善行少年の表彰について 3 議事終了後講演会 講師 東海大学教授 萩野 弘巳 演題 いじめ問題にどう対処するかー「ノーと言える子供を」

(2) 青少年問題地区委員長会

地域社会にあって、青少年の健全育成を図るため青少年問題協議会において、調整した施策に協力し、地域の実情に応じた事業を実施し、委員会相互の連絡・協力して社会環境の浄化を図っていく。

開催日	会 議 名	内 容
4月5日	理 事 会	第3回ふっさ輝きフェスティバル、予算について
4月18日	地区委員長会	第3回ふっさ輝きフェスティバルについて
4月25日	地区委員長会	〃
5月10日	理 事 会	〃
5月14日		前日準備
5月15日		第3回ふっさ輝きフェスティバル＝雨天中止
6月	地区委員長会	新旧地区委員長歓送迎会
7月7日	理 事 会	危険場所マップ、夜間一斉パトロール、視察研修について、他
7月22日	地区委員長会	非行防止用品及び標語板・ラジ体操カードの配布、夜間一斉パトロール、視察研修について、講演会＝講師、福生警察署三井防犯課長
8月27日		夜間一斉パトロール
9月9日	理 事 会	夜間一斉パトロール、視察研修、地区委員長会主催事業について
9月27日	地区委員長会	視察研修、地区委員長会主催事業について
10月5日		視察研修＝赤城少年院
10月13日	地区委員長会	地区委員長会主催事業＝軽スポーツ&豚汁会＝について
10月	理 事 会	軽スポーツ&豚汁会について
11月10日	地区委員長会	軽スポーツ&豚汁会について
11月19日		前日準備
11月20日		軽スポーツ&豚汁会
1月15日	地区委員長会	成人式出席、新年会
1月25日	理 事 会	平成7年度事業計画について
2月15日	理 事 会	平成7年度事業計画、阪神大震災の義援金、新役員について
2月28日	地区委員長会	平成7年度事業計画、阪神大震災の義援金、ふっさ輝きフェスティバル、補助金報告・申請について
3月16日	理 事 会	第4回ふっさ輝きフェスティバルについて
3月23日	地区委員長会	第4回ふっさ輝きフェスティバルについて

平成6年度 地区委員会実績

地区委員会名	委員数	児童生徒数	地区活動の主なもの			活動数	参加延人数	事業費総額	市補助金等	その他
熊川住宅	8	140	河川清掃	夜間パトロール	映画会、団地祭り等	13	947	138,808	57,200	81,608
南	14	82	河川清掃、資源回収等	非行防止パトロール	夏祭り、ふれあい広場他	9	656	165,000	46,760	118,240
内出	11	153	廃品回収	危険箇所パトロール	餅つき大会他	9	1,363	114,540	59,540	55,000
武蔵野	41	133	資源回収、河川清掃他	視察研修他	夏祭り、卒業生を送る会他	23	1,261	236,615	55,940	180,675
福東	18	350	落ち葉たき	夏休みパトロール他	ハイキング、やきいも大会他	11	1,040	154,000	95,000	59,000
南田園一丁目	25	156			キャンプ、ラジオ体操他	5	1,460	160,082	60,080	100,002
鍋一	14	298	路上清掃、空き缶回収他	夏休みパトロール	運動会、ラジオ体操他	10	670	110,000	85,640	24,360
鍋二	21	378	交通安全、資源回収他	悪書自販機パトロール	ソフトボール大会、餅つき他	35	620	437,037	100,040	336,997
富士見	25	35	パチンコ店調査	七夕パトロール	ラジオ体操、スキー教室他	15	396	65,500	43,880	21,620
玉川台	21	66	河川清掃、廃品回収他	交通安全	ラジオ体操他	7	98	46,064	38,300	7,764
福栄	11	88		ほたる祭りパトロール	お楽しみ会、運動会他	17	855	344,000	47,840	296,160
熊牛	27	335	公園花植え、交通安全他	夏休みパトロール	ラジオ体操、バス旅行他	16	1,520	819,300	92,300	727,000
南田園三丁目	30	95		ほたる祭りパトロール	どんど焼き、餅つき他	4	213	132,208	49,100	83,108
牛一	23	133	資源回収他	夜間パトロール他	ラジオ体操、運動会他	20	637	105,940	55,940	50,000
牛二	9	182	廃品回収他	夏休みパトロール	桜祭り、バーベキュー他	19	868	488,000	64,760	423,240
原ヶ谷戸	9	355	資源回収他	研修会他	盆踊り、映画会、餅つき他	13	1,353	312,942	95,890	217,052
志茂一	24	253	町内美化、交通安全他	町内パトロール	ハイキング、どんど焼き他	28	1,420	128,000	77,540	50,460
志茂二	24	184	資源回収	交通安全、懇談会他	キャンプ、クリスマス会他	21	1,964	1,243,725	65,120	1,178,605
本町第一	13	23	河川清掃	七夕パトロール	球技大会、映画会他	17	221	181,414	36,140	145,274
本町第二	17	33	河川清掃	夜間パトロール他	球技大会、バーベキュー他	15	293	166,580	37,940	128,640
本町第三	14	29			盆踊り、芋掘り他	8	521	145,500	37,220	108,280
中央	10	17	廃品回収他	七夕祭りパトロール他	球技大会、バーベキュー他	11	310	208,060	35,060	173,000
本六	21	53	町内消毒、資源回収他	一声運動パトロール他	川遊び、ラジオ体操他	17	1,117	491,308	41,540	449,768
本七	22	220	廃品回収、河川清掃他	夏休みパトロール他	6年生を送る会他	33	1,591	125,000	71,600	53,400
本八第一	22	350	廃品回収、町内美化他	七夕パトロール他	ボーリング大会他	42	3,941	1,501,265	95,000	1,406,265
本八第二	25	291	交通安全、防災訓練他	家庭教育研修会他	運動会、クリスマス会他	22	2,280	554,718	84,380	470,338
武蔵野台一丁目	28	343	町内美化、河川清掃他	夜間パトロール	夏祭り、芋掘り、運動会他	18	1,849	1,050,835	93,740	957,095
加美平住宅	6	245	交通安全他	懇談会、パトロール他	青空コンサート、餅つき他	16	1,045	542,500	76,100	466,400
加美第一	14	126	河川清掃、廃品回収他	夜間パトロール他	ラジオ体操、どんど焼き他	26	1,627	104,000	42,980	61,020
加美第二	14	135	河川清掃、廃品回収他	防犯映画会他	盆踊り、どんど焼き	15	1,090	186,576	94,450	92,126
長沢	6	61	廃品回収、町内美化他	町内パトロール他	運動会、卒業生を送る会他	22	1,260	301,326	56,300	245,026
永田	22	347	廃品回収、河川清掃他	公園パトロール他	運動会、芋煮会、餅つき他	22	3,299	503,692	54,680	449,012
計	589	5,689				559	37,785	11,264,535	2,048,000	9,216,535

(3) 平成6年度青少年対策事業

① 社会教育課、体育館

- 家庭の日推進事業
- 一声運動
- 青少年の社会参加活動推進事業
- 青少協だより
- 青少年問題講演会
- 青少年問題地区委員長会役員研修
- 青少年の主張大会
- 家庭の日 図画、作文募集
- 善行少年表彰
- 子供自然観察会
- 各種運動（家庭の日 一声運動） チラシ配布
- 水泳教室（小、中学生）
- 小学生バレーボール教室
- 小学生バスケット教室
- 小学生バドミントン教室
- 幼児体操教室
- 親子スポーツ教室
- 夏休みジュニアスポーツスクール

② 市民会館、公民館

- 冬休み工作教室
- サバイバル教室
- 児童合唱教室
- 子ども教室94
- ファンタスティック
- たんけん教室
- 子ども昆虫博士になろう
- 白梅親子映画

③ 図 書 館

- しゃぼんだまであそぼう
- おもちゃ展
- クリスマス会
- おはなし会
- 子ども映画会

(4) 地区活動への援助

① 補 助 金

- 地区委員長会への補助金
- 地区組織活動補助金
- 青少年の社会参加

② その他の援助

- 事務的援助（コピー、印刷等）
- 各種大会等の開催援助（野球用具、レクリエーション、備品等の貸出し）
- 講演会、研修会の開催援助（講演の紹介、会場の確保）

8. 青少年海外派遣事業

(1) 目 的

青少年を海外に派遣し、その国の歴史を学び、文化及び風土に直接接し人々と交流することによって、相互理解を深め将来、国際的な視野に立って活躍出来る人材の育成を図っていく。

(2) 対 象 者

- 平成6年4月1日現在において、福生市に引き続き1年以上住民登録をしていること。
- 学校教育法に基づく中学校第1・2学年に在学していること。
- 心身共に健康で協調性に富み規律ある団体生活が出来ること。
- 派遣生としての体験を生かして、帰国後も地域や学校において活発な活動が出来ること。
- 保護者の承認が得られること。
- 福生市の海外派遣事業に参加した者は除く。
- 事前・事後研修に全て出席できること。

(3) 応募方法及び申込期間

写真を添付し「福生市青少年海外派遣参加申込書」に必要事項を記入して提出する。

平成6年2月1日～平成6年2月28日

(4) 応募状況

学 校 名	男 子	女 子	計
市立第一中学校	4	3	7
市立第二中学校	3	7	10
市立第三中学校	3	5	8
私 立 中 学 校	7	11	18
計	17	26	43

(5) 派遣選考結果

中学生12名（男子4名、女子8名）

(6) 派遣日程

7月25日（月）～8月9日（火）

(7) アメリカ合衆国アラバマ州他

(8) 帰国報告会

平成6年8月19日（金）

商工会館 3階 ホール

9. 集会施設の使用状況

扶桑会館利用状況

区 分 月	集 会 室		和 室		会 議 室		合 計			
	申請	人	申請	人	申請	人	申請	人	使 用 料	
	件数	数	件数	数	件数	数	件数	数	件数	金 額
4	40 ^件	713 ^人	30 ^件	319 ^人	23 ^件	173 ^人	93 ^件	1,205 ^人	27 ^件	27,000 ^円
5	39	752	30	393	27	233	96	1,378	28	30,100
6	48	809	30	317	32	219	110	1,345	34	30,800
7	43	582	30	374	26	229	99	1,185	25	23,800
8	30	578	23	292	13	149	66	1,019	25	20,800
9	46	640	35	331	25	238	106	1,209	41	41,200
10	45	589	32	306	20	146	97	1,041	39	33,400
11	50	499	28	339	20	153	98	991	30	29,100
12	36	474	24	244	12	123	72	841	12	10,400
7 年 1	10	136	5	45	5	53	20	234	3	2,100
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—	6	5,600
合 計	387	5,772	267	2,960	203	1,716	857	10,448	270	254,300

かえで会館利用状況

区 分 月	集 会 室		和 室		会 議 室		合 計			
	申請	人	申請	人	申請	人	申請	人	使 用 料	
	件数	数	件数	数	件数	数	件数	数	件数	金 額
4	40 ^件	822 ^人	27 ^件	382 ^人	19 ^件	689 ^人	86 ^件	1,893 ^人	30 ^件	20,800 ^円
5	39	581	36	476	20	166	95	1,223	29	22,200
6	36	552	37	452	19	187	92	1,191	29	21,300
7	43	1,103	24	634	31	1,016	98	2,753	27	18,000
8	36	625	26	417	26	339	88	1,381	24	18,900
9	54	832	28	378	32	696	114	1,906	38	25,200
10	39	697	22	374	28	617	89	1,688	27	21,600
11	46	782	24	315	19	152	89	1,249	32	22,800
12	34	440	18	203	24	254	76	897	17	18,000
7年1	49	666	32	399	30	190	111	1,255	36	22,100
2	41	535	41	556	22	165	104	1,256	28	19,200
3	54	1,026	45	497	37	947	136	2,470	32	24,000
合 計	511	8,661	360	5,083	307	5,418	1,178	19,162	349	254,100

10. プチギャラリーの利用状況

プチギャラリー利用状況

市民文化の向上及び市内商工業の振興を図るため、広く市民の方に利用された（建築延床面積326.73㎡）。

区 分 月	物産展示室		第一展示室		第二展示室		合 計			
	申請	利用	申請	利用	申請	利用	申 請	入 場	使 用 料	
	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件 数	者 数	日数	金 額
4	1 ^件	3 ^日	5 ^件	25 ^日	4 ^件	22 ^日	10 件	2,420人	一日	一円
5	1	3	5	21	5	21	11	2,568	3	15,000
6	2	5	4	21	3	15	9	1,800	3	15,000
7	1	3	4	21	3	15	8	2,017	9	75,000
8	2	5	4	21	3	17	9	2,707	—	—
9	1	3	3	16	2	10	6	1,798	3	15,000
10	2	5	5	19	3	12	10	2,798	—	—
11	1	3	4	24	4	24	9	3,215	7	35,000
12	2	5	4	17	3	15	9	1,776	3	15,000
7年1	1	3	4	21	2	12	7	2,157	3	15,000
2	2	5	4	24	4	24	10	1,767	—	—
3	1	3	4	21	3	21	8	2,594	9	45,000
合 計	17	46	50	251	39	208	106	27,617	40	230,000

- (2) 展示内容 展示販売(17) 絵画(32) 写真(12) 手芸(8) 書道(8) 工芸(6)
 陶芸(5) 水墨画(4) 盆栽(3) 彫刻(2) ペーパークラフト(2)
 スケッチ(2) ポスター(1) その他(4)